

56 日本の偉人の“豊かさ”を探る

～ 何か副題があればここに入力 ～

Research for “wealth” of great persons in Japan

1 研究背景と研究目的・意義

1.1 研究背景

- ・グループのメンバー全員が文系で歴史に興味があったから。
- ・歴史を学ぶ上で、なかなか実感が湧かず興味を持てないという問題の解決を、具体的に現代のものと比較をして当時のことを身近に捉え、歴史を学びやすくするため。
- ・当時、圧倒的な財力で権力を握っていた者は今だとどれくらいの財力なのか気になったため。

1.2 リサーチクエストと先行研究・事例

リサーチクエスト：金銭面で、“豊か”な人物は誰なのだろうか。

先行研究？ 平野先生から頂いた日本史の資料

新詳日本史

1.3 研究の目的・意義

- ・歴史を学ぶ上で、なかなか実感が湧かず興味を持てないという問題の解決を、具体的に現代のものと比較をして当時のことを身近に捉え、歴史を学びやすくするため。

1.4 仮説とその根拠

明治維新を機に、収入は大きく落ち込むことになる。

土地を個人的に所有していた背景で、平安時代の貴族(藤原道長)は特に金銭(資産)面で裕福である。時代が進むにつれて、権力者による支配が薄れていき、時代にトップの人の年収も下がっていく。

2 研究方法1 藤原道長

2.1 研究の目的とリサーチクエスト・仮説との関係

豊かな暮らしをしているイメージがある平安時代のトップである道長を現代の価値でとらえることで歴史上の人物をより身近に感じるため。

2.2 研究と分析方法

図書館にある本やネットの情報に掲載されている当時の貨幣の価値をもとに年収を現代の価値に直す。そして、現代のお金持ちと比べるとどれくらい豊かなのかを調べる。

2.3 結果

位階・官職に対する収入

前提条件：齋宮歴史博物館：齋宮千話一話>第五話より一文24円

稲 1束 1200円

道長の最高官職である従一位・太政大臣のときの収入に基づくものとする。

5 官人の給与		官 職			職田	職 封	職分資人	位封・職封・位階・官職に応じて 給される封戸。封戸が納める租 の半分と調庸の全部を支給。 職封は退官後も半分を支給。 位分資人・職分資人…位階・ 官職に応じて給される定者。
給年	位階	位封	職 封	職 封	職分資人	職分資人		
	正一位	80	300	30	30	100	140	100
	従一位	74	260	30	30	100	140	100

官 職	職田	職 封	職分資人
太政大臣	40町	3000戸	300人
左・右大臣	30町	2000戸	200人
大納言	20町	800戸	100人
(中納言)		200戸	30人

結果は以下のようなになる。

- ・位田 2510万円 (74町×一町の平均収穫量283束×1束1200円)
- ・位封 5500万円 (260戸×1封戸の稲換算356束×1200円×二分の一)
- ・職封 6億4000万円 (3000戸×356束×1200円×二分の一)
- ・季禄 690万円

- ・職田 1340万円
- ・節禄 1550万円
- ・時服 10万円
- ・馬料 240万円

これらを足し合わせると、7億5840万円

荘園からの収入

前提条件：荘園数400か所

1荘園当たりの稲の平均収穫量約1500束

結果は $400 \times 1500 \times 1200$ 円 = 7億2000万円

以上より道長の年収は7億5840万円 + 7億2000万円 = 14億7840万円

現代でいうところのダウタウン松本人志やビートたけしと同等。

また、石破茂総理は年収約4000万円。

2.4 考察

平安時代のトップの権力者は、現代よりも金銭的に豊かだった。

また、現代とは違って。広大な領地をもっていたことが今回の結果につながっていると思う。

3 徳川家康と伊藤博文

徳川家康：幕府の直轄領は約400万石。

そこから家臣への給料、さまざまな経費などを差し引くと、実質約65万石が年収。

1石は約1両に値するので、65万石 = 65両。

1両 = 米150キログラム

米10キログラム = 5000円と仮定すると1両は6万5000円。

よって、 $65 \text{両} \times 6 \text{万}5000 \text{円} = 422 \text{億}5000 \text{万円}$ 。

現代でいうと、クリスチティアーノ・ロナウド（約450億円）と同等。

伊藤博文：内閣総理大臣の頃とする。

明治時代の総理大臣の年収約9000円

明治時代の1円 = 現代の約3万円。

よって、 $9000 \times 3 \text{万円} = \text{約}2 \text{億}7000 \text{万円}$ 。

先ほど述べたように現代の総理大臣の年収が約4000万円なので当時のほうがはるかに儲かっていた。

4 結論と今後の展望

4.1 結論

平安、江戸、明治のそれぞれの時代のトップの年収を比較したが、どれも現代だとかなりの富豪と呼べるものだった。また、道長よりも家康が年収が高かったのは、藤原氏も広大な範囲を支配していたが、江戸幕府はほぼ日本全体を支配していたからだと思う。

そして、明治と現代の比較より、貴族などの富裕層との格差が縮まったと思われる。

4.2 今後の展望

難しいかもしれないが、世界史に登場する偉人について調べていきたい。

5 謝辞

読んでくださりありがとうございました。

6 引用文献・参考文献

[「徳川家康」は意外と儉約家！年収はどれくらいあった？どんな生活をしていたの？|ファイナンシ](#)

[ヤルフィールド|年収](#)

[齋宮歴史博物館：齋宮千話一話 > 第5話](#)

[位階官人俸禄表](#)

[平安貴族の給与格差 紫式部の父（地下官人）と、藤原道長の父（公卿）の給料を徹底比較！ | 戦国
ヒストリー](#)

[181130tokubetushoku_kyuyo.pdf](#)

[石破内閣、資産平均7245万円 首相は12位3377万円：時事ドットコム](#)